

「もりづくり」って何！？

～木をきることは自然をこわすこと？～

私たちの近くの森林はどうなっていますか？

私たちの周りには、緑がたくさんあって、自然が豊かだと思いませんか？
近くの森林をよく見てみましょう。身近な自然である里山の多くは、
今、木がびっしりと生えて、昼間でも日の光がさしこまず、真っ暗です。
そのため、地面には草が生えず、土がむきだしになっています。また、
竹がものすごいきおいで成長し、そこに生えている木におおいかぶさり、
人も近よることができないような暗い森林がふえています。



どうしてこんな暗い森林がふえたのでしょうか？



およそ40年ほど前までは、人々は森林の木をきって生活をしていました。
きった木から作ったまきや炭を燃やしてご飯を炊き、お風呂をわかし、
寒い冬の日には部屋をあたためていました。そして、近くの山の木で家を
たてたり、落ち葉を集めて田畑の肥料にしていました。また、竹をザルや
カゴなどの生活道具の材料に使っていました。

ところが今、人々はあまり木をきらなくなりました。昭和30年ごろから、
石油やガス、電気が使えるようになり、まきや炭を使わなくなったからで
す。家も、安い外国の木を使ったり、鉄やコンクリートでたてるようにな
りました。また、生活道具もプラスチックなどで作られたものを使うようになりまし
た。木をきらなくなったため、森林はほったらかしにされ、その結果、光のさしこま
ない暗い森林になってしまったのです。

暗い森林と明るい森林はどうちがうのでしょうか？

暗い森林の中は、草が生えにくくなるので、それを食べ物にする昆虫や動物なども住みにく
くなります。その結果、植物だけでなく、昆虫や動物の数も種類も少なくなってしま
います。これでは豊かな自然とは言えません。

しかし、太陽の光がさしこむ明るい森林には、いろんな種類の
草が成長し、それを食べる昆虫があわれます。そして、草や昆
虫をえさにしている鳥やけものなどの動物もやってきます。まさ
に豊かな自然となってくるのです。



明るい森林にするにはどうすればいいのでしょうか？



明るい森林にするには、木や竹をきって、森林の中に光がさしこむよ
うにすることが必要です。

しかし「木をきることは自然をこわすことだ」と思っていないですか？

たしかに、一度に必要以上に木をきってしまうと自然をこわすことにな
ります。しかし、明るい森林をつくり、自然を豊かにするために木を
きることは、決して悪いこと（自然をこわすこと）ではありません。

森林のようすをよく見て、自然豊かな森林をつくるために、みんな
で知恵と力を出しあうことが大切です。